

プリセット設定について

はじめに

Pearl シリーズは設定した内容をプリセットとして保存しておく機能があります。こちらの機能を使うと用途によって異なる設定も簡単な操作で設定変更できます。

Pearl にはあらかじめ「Factory default」というプリセットが用意されており、こちらのプリセットを適用すると録画ファイルを削除することなく初期設定に戻すことができます。

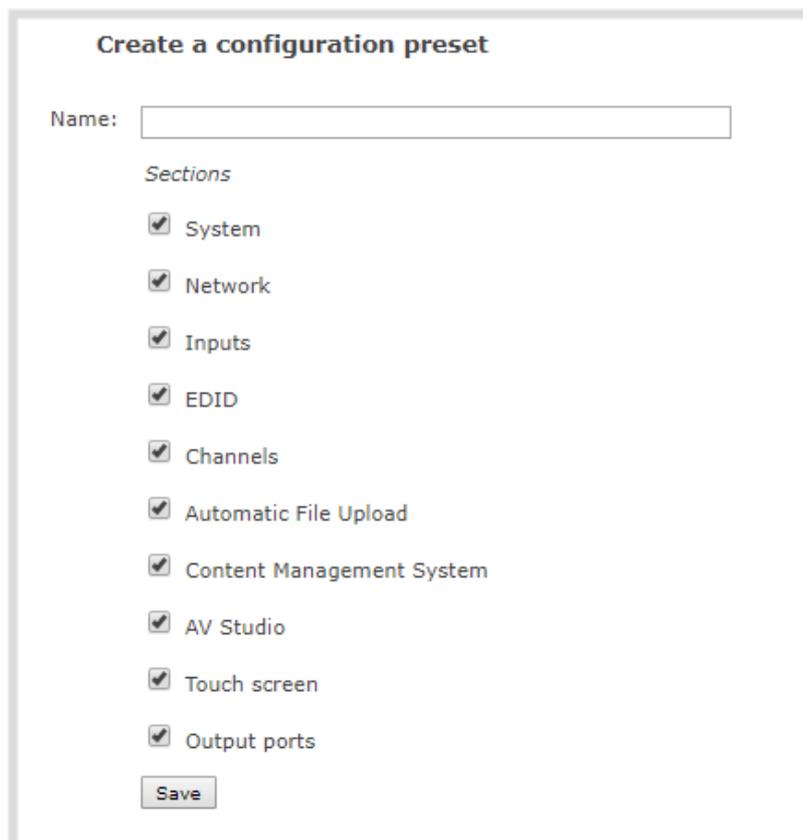
※プリセット「Factory default」は消去できません

※初期化すると録画ファイルは削除されます



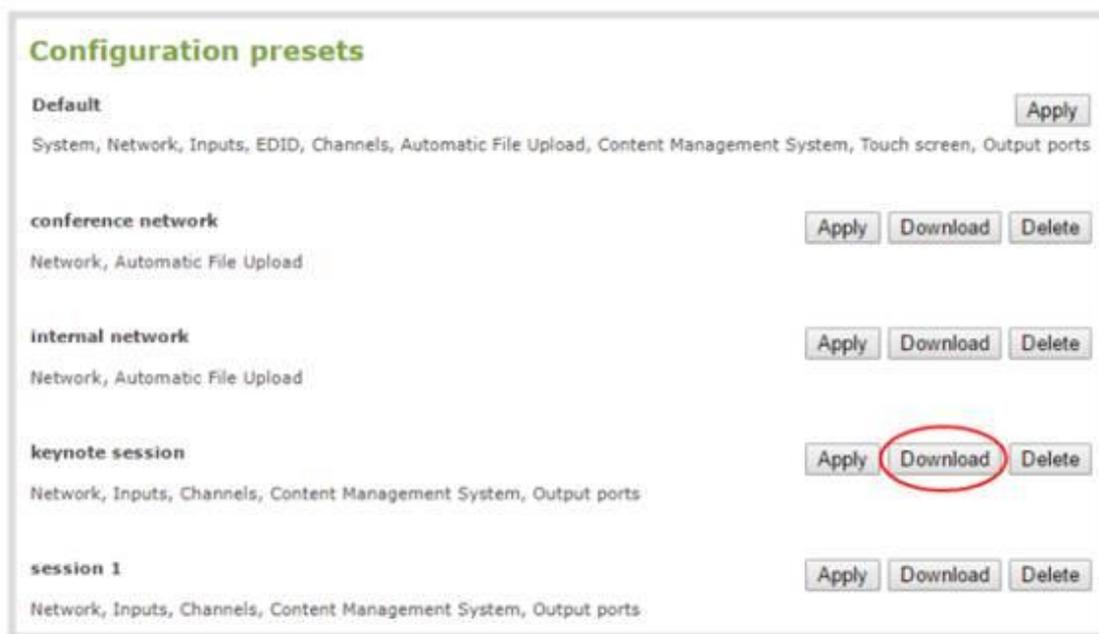
現在の設定をプリセットとして作成する方法

1. Admin 権限で管理者画面にログインする
2. ■Configuration メニューにある「Maintenance」をクリックし maintenance page を開く
3. Configuration presets にある Name : の項目欄に任意で名前を入れる（英数字のみ）



プリセット設定について

4. プリセットに必要な項目にチェックをいれる（特に不要なものがなければ全項目にチェックを入れておいてください）
5. **Save** をクリックする（クリック後、上部のプリセットリストに作成したプリセットがリストされることを確認ください）



プリセットファイルをダウンロードする場合は、そのプリセットの **Download** をクリックし、プリセットを Pearl に適用したいときは、適用したいプリセットの **Apply** をクリックしてください。**Apply** をクリックすると自動的に再起動し、設定が適用されます。

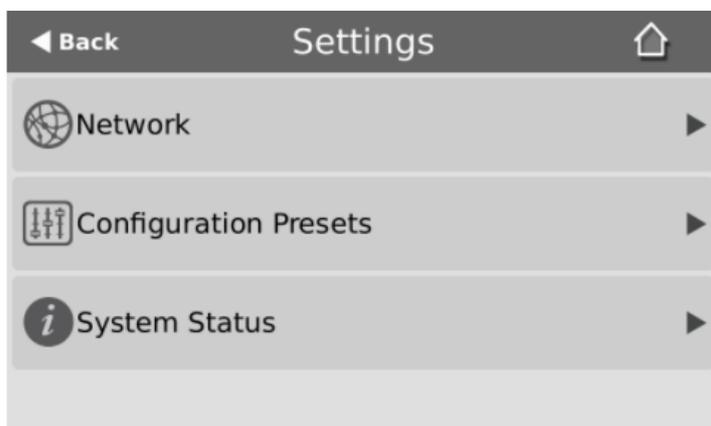
プリセット設定について

前面パネルを使ってプリセットを適用する

・ Pearl-2/Pearl Mini

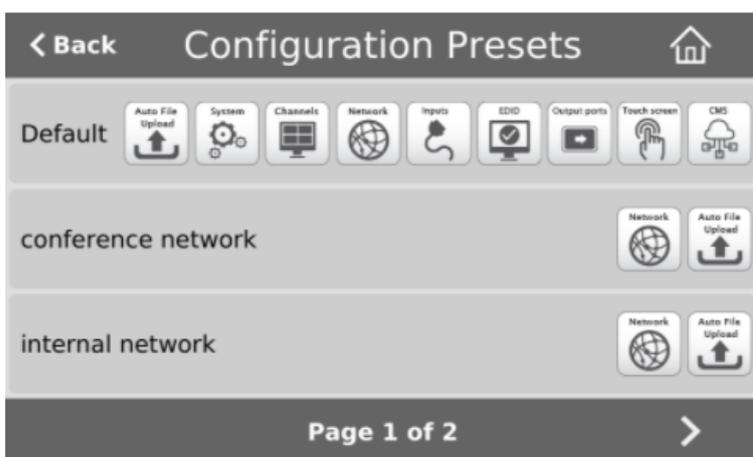
1. タッチパネル上、右下にある歯車アイコンをタッチし、Settings 画面を表示する

もし歯車アイコンが表示されていなければ、タッチパネルの任意の場所をタッチしてください。



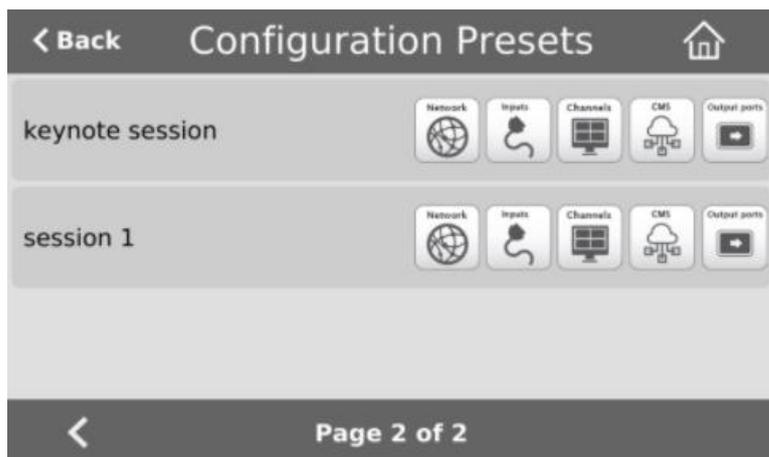
2. Configuration presets をタッチする

Default は初期設定のプリセットで、常に一番上に表示されます。

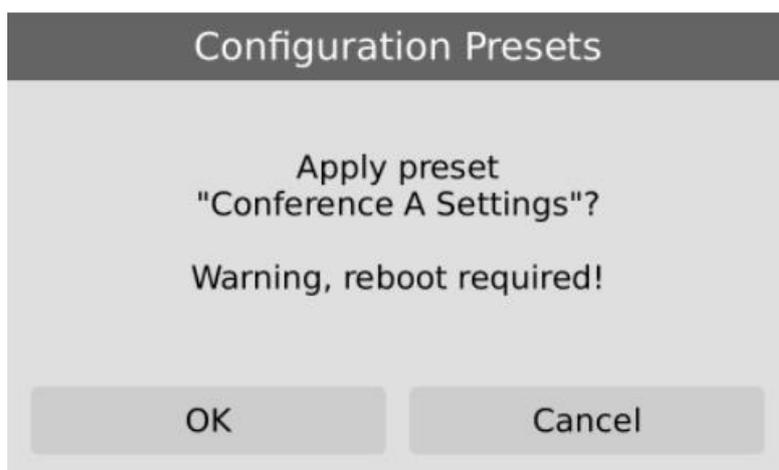


3. 保存されているプリセットが複数ある場合は画面下にある「>」をタッチしてページを送り、適用したいプリセットをタッチする

プリセット設定について

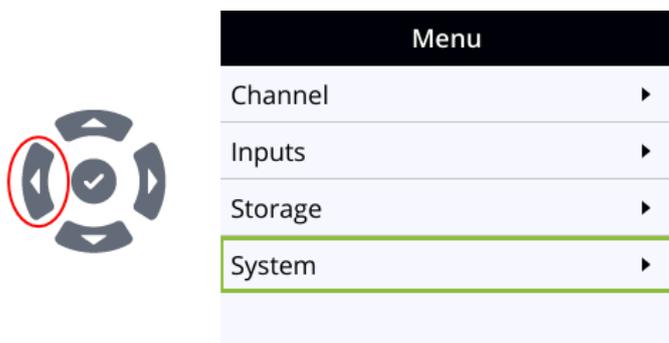


4. プリセットの適用と再起動の確認プロンプトが表示されるので、OK をタッチする



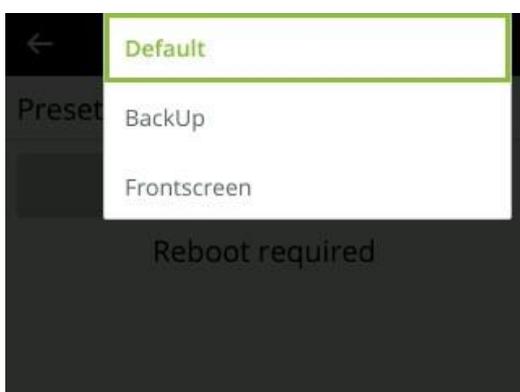
・ Pearl Nano

1. Menu 画面が表示されるまで左矢印キーを押す
2. 矢印キー/チェックマークキーを使って System を選択し、Configuration preset を開く



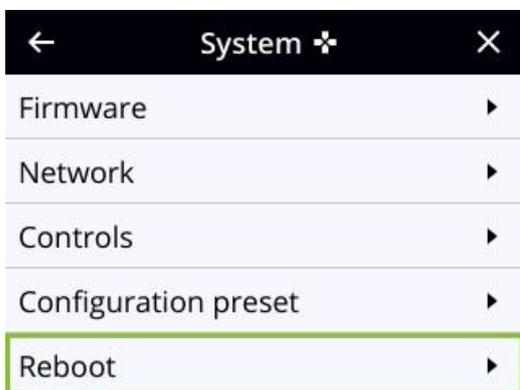
プリセット設定について

3. Preset が選択されている状態でチェックマークキーを押し、プリセットのリストから利用するプリセットを矢印キーで選択し、チェックマークキーを押す



4. 選択したプリセット名が Preset の項目に表示されていることを確認し、Apply を選択しチェックマークキーを押す
5. プロンプトが表示され Pearl Nano を再起動する

System 画面で Reboot が表示されるまで矢印キーを押し、Reboot を選択しチェックマークキーを押す



プリセット設定について

プリセットファイルをインポートする

事前準備として、管理者画面にログインする PC へプリセットファイルを保存しておいてください。

1. Admin 権限で管理者画面にログインする
2. ■Configuration メニューにある「Maintenance」をクリックし maintenance page を開く
3. Import configuration preset にある **ファイルを選択** をクリックし、プリセットファイルを指定する
4. ファイルの選択ができれば **Import** をクリックする

Import configuration preset



5. Import が済むと Configuration presets にリストされる
6. そのプリセットを適用する場合は **Apply** をクリックする

プリセット設定について

プリセット設定について

プリセットには以下のグループが含まれます。

グループ名	構成グループに含まれる設定
System	日時設定、シリアルポート設定、リモートサポート設定、カスタムディスクチェック予定、パスワード、拒否/許可のリスト、LDAP 設定
Network	ネットワーク設定
Inputs	EDID を除く全音声・映像ソース設定(ソースが入力されていない場合の設定も含む)
EDID	ソースの EDID 設定、このグループを含むプリセットを適用すると、含まれている EDID が自動的に適用されます。このプロセスには時間がかかる場合があります。
Channel	全ての Channel 設定データと録画ステータス、カスタムレイアウト、レイアウトで使用する画像、ストリーミングステータス、全ての録画設定データとステータス、UPnP 設定
AFU	自動ファイルアップロードの設定、SFTP / SCP プライベートキーは、自動ファイルアップロードプリセットに（暗号化された形式で）含まれています。
CMS	統合するための CMS 設定（例. Kaltura や Panopto）
Epiphan Cloud	Epiphan Cloud のペアリングと encoder 項目の情報
Front screen	前面パネルの PIN 設定
Output ports	出力ポートの全ての設定

プリセットを作成する際に選択除外したグループの設定内容はプリセットには反映されませんので、ご注意ください。

プリセット利用の例

講演の前に任意の背景画像を Pearl Nano にアップロードするなど講演者によって異なる Channel 設定を行い、プリセットを用意しておくことで講演者が変わった際にすぐ適切な設定を適用できます。

例えば、セッション1とセッション2という2つのプリセットを作成した場合、

任意の背景画像、画像とロゴ、Channel と layout 設定、メタデータ、ストリーミング設定、ネットワー

プリセット設定について

ク設定、自動ファイルアップロード（AFU）の転送先など

それらのプリセットファイルを PC にダウンロードしておくことで Pearl Nano へすぐにインポートできます。講演時は管理者画面または前面パネルから必要なプリセットを選択し適用できます。

プリセット：セッション 1



プリセット：セッション 2



プリセットを適用した後、前のセッションで録画したファイルは Pearl に残ります。自動ファイルアップロードが設定されている場合は、新しいプリセットが適用された後でも、ファイルのアップロードは続きます。（AFU がまだ完了していない場合）ただし、新しくロードされたセッションのファイル名を反映します。

プリセット利用時の注意点

- ・プリセットを適用しても録画ファイルは削除されません。Pearl にアクセスできるすべてのユーザーは保存されている全ての録画ファイル、カスタム Channel レイアウトなどにアクセスできます。
- ・プリセット設定はパスワードなしで上書きおよび削除できます。管理者画面にログインしているユーザーは、既存のプリセットを削除または変更できます。
- ・プリセットの構成グループにはユーザー情報が含まれません
- ・管理者画面にアクセスできるユーザーはアップロードされたメディアや録画ファイルを削除できます。